



# 赤ちゃん授業通信



王地小学校 2024年10月31日

## 命の授業

人はみんな  
ありのままの自分で  
自分の望むように  
生きる権利があるよ



王地小学校、5年生5人、6年生11人と5組の親子が参加し、赤ちゃん授業を開催しました！  
徳島県助産師会の田中章子先生より“命の授業”を聞いた後、体験コーナーでは、妊婦の身体の変化や重さを体感したり、赤ちゃん人形を使って抱っこ練習をしました。  
実際に赤ちゃんに触れ合う交流では、命のぬくもりを肌で感じる事ができました。

## 生徒からの質問

- ・妊娠中に大変だったことはありますか
- ・子育てで一番大変だったことは何ですか
- ・妊娠中に一番不安だったことはありますか
- ・赤ちゃんを生んだ瞬間はどんな気持ちですか
- ・妊娠中は、どのような事を考えていましたか
- ・人によって赤ちゃんが生まれるスピードは変わりますか



## 体験コーナー

妊婦ジャケットをつけたり、赤ちゃん人形を抱っこしたり胎児模型を使った体験をしました！



## ふれあい交流

グループに分かれて、生後4か月～12か月の赤ちゃんに触れ合ったり、抱っこをさせてもらいました。また、妊娠中の貴重なエコー写真や、生まれた時や子育てのお話をお母さんやお父さんから直接聞くことができました。





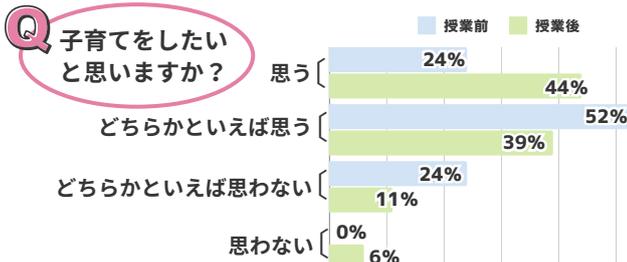
## 生徒からの感想

- 赤ちゃんが生まれる前後でも大変なことがあるけど、それ以上に嬉しい気持ちがあることを今回の体験で学ぶことができた。
- 抱っこした時に「赤ちゃんってこんなに温かいんだ」と少しびっくりした。そして男女それぞれの体の仕組みも分かって、とても貴重な体験だった。
- お母さんは赤ちゃんがお腹の中にいる時、こんなにも大変だったんだと分かった。
- この授業を通して赤ちゃんへの思いがより強くなった。自分の親がこれまでに苦労したことも分かった。本物の赤ちゃんは可愛くてとても癒された。笑顔いっぱいの赤ちゃんを見ると自分も笑顔になった。
- 授業前は、赤ちゃんの抱き方やお世話の仕方が全く分からなかったが、この授業で良く分かった。今日の授業は、将来の自分に役立つなと思った。
- 人形で赤ちゃんを抱く練習をしていると「慎重に」という言葉をたくさん聞いたので、赤ちゃんは慎重に育てるべきなんだということが分かった。赤ちゃんのお母さんの話を聞いていると「大変」という言葉が絶対に入っているけど、それと同時に「でも」という言葉もあって、明るい話をたくさん聞いたので、赤ちゃんがいると心が明るくなったり、嬉しい気持ちになるんだなと思った。たった30分赤ちゃんに触れ合っただけなのに元気になったので、赤ちゃんの持つ力はすごいなと思った。それに赤ちゃんのお父さんの動画を見ているとやっぱりお父さんも楽しそうだなと思った。
- 赤ちゃんがお腹にいるときの体験をして、妊婦さんはお腹が重いのにすごく頑張っているなと思った。
- 初めて本物の赤ちゃんを抱いて、赤ちゃんの重みや温かさを感じた。



## Q&A

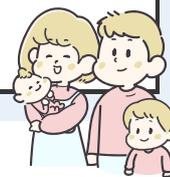
### 生徒アンケート (授業前と授業後にアンケートを実施しました)



## パパママからの感想



- 妊娠中のことやこれまでの子育てを振り返るきっかけにもなるし、自分の子どもと改めて向き合ういい機会になった。
- とても嬉しそうに赤ちゃんに接してもらえて、赤ちゃんにも良い刺激になった。
- いろいろな人を見たり、触れたり、笑いかけってもらって、いい交流ができた。
- 普段の生活で赤ちゃんに触れ合うことはほとんどないと思うので、こういうふれあい交流の機会があるととても良いと思う。生徒達は自分が小さい時のことを忘れていることが多いので、家族の中で妊娠中のことや小さい時に嬉しかったことや大変だったことなどをたくさん話して聞かせてあげることが大切だと感じた。
- 生徒が一生懸命まっすぐ赤ちゃんに向き合ってくれて心打たれた。
- 小さいながらもしっかり子どもは成長するんだなと未来への希望が見えた。



## 運営スタッフより

- 生徒達のキラキラした笑顔と参加されたお母さんやお父さんの生徒達への優しい声掛けがとても良かった。
- 大切なお子さんを連れて参加された保護者の方々の優しさに関わる生徒への心配りを目の当たりにし感動した。
- 赤ちゃん授業自体を徳島県全校に知ってもらいたい。この授業の目的や意味を知った上で実施してくれる学校が増えると嬉しいなと思った。